

事例3

栃木市吹上地区公民館・栃木市立吹上小学校・千塚小学校

わくわく教室いぶき

連携の経緯



平成5年から、公民館では学校週5日制対応事業として小学生を対象とする事業を実施していた。そこで、平成18年度以降の実施にあたり、地域で子どもたちを育てるという観点から、学校での総合的・発展的学習内容として学校ではなかなか実施しにくい体験活動を、公民館の事業で補完できないかと考え、地区内の2校の小学校教員に対してニーズ調査を行い、提案された内容を事業に反映させた。

連携事業の概要

平成18年度に地区内の2小学校の教員約20名に対し、学校での総合的・発展的学習内容などとして、事業に取り入れてほしい内容のニーズ調査を実施した結果、次の10の事業内容の提案を得た。

「梅と仲よし」「果物で電池づくり」「ハンカチを染めよう」「昔遊び」「お米の粉でだんごをつくろう」「吹上に昔から伝わる郷土料理を学ぼう」「地域おはやし体験」「日本の文化に触れよう」「外国の生活と文化を知ろう」「手軽なスポーツを楽しもう」

結果から、「ハンカチを染めよう」については平成18年度後期事業に反映させた。さらに、平成19年度には10の提案を基にした「わくわく教室いぶき」（全10回）を実施している。

連携の形態

本事業は、公民館の主催事業で公民館事業に学校が協力するというかたちで実施された。学校は、公民館が教員に対して行ったニーズ調査の中で、学校として子どもたちに身に付けさせたい学習内容を公民館に提案する。公民館は、その提案を生かして、学校での総合的・発展的学習内容などを取り入れた小学生対象の事業を企画する。その事業の募集案内は学校から子どもたちに手渡され、事業への申込みは公民館が受ける。

栃木市吹上地区公民館

【施設データ】

所在地	栃木市吹上町782番地1
電話	0282-31-1792
設置年	昭和44年(平成12年改築)
対象地域人口	約11,000人
延床面積	1,186.69㎡
設置状況	複合：栃木市吹上出張所
U R L	

【施設の管理運営等】

職員の状況	・館長(専任1) ・主幹兼地区公民館係長(兼任1) ・社会教育主事(兼任1) ・主事(兼任2)
協議会等	吹上地区公民館運営審議会 吹上地区社会教育振興協議会
予算額	維持管理費： 7,761,000円 事業費： 258,000円

連携の留意点

- 小学生対象の事業は、「異年齢集団の中でのものづくりや体験活動を通じて、身近な事象や原理などを学習すること」を目的としているので、子どもたちが学校の授業の延長線上と感じることがないように配慮する。
- 事業は、スポーツ少年団の活動をしている子どもたちでも参加しやすい時間(午後2時～4時)を設定する。
- 事業は、学校での総合的・発展的学習内容を補完する内容とはしているが、そのことを契機として、公民館では青少年が自分の興味・関心に応じて参加し、個性を伸ばすことを目的とした事業として開設する。



成果

- ニーズ調査結果を基にテーマを設定したので、事業が系統的に実施できるようになった。
- 教員からのニーズが事業に反映されているので、事業に対する教員の意識高揚にもつながり、子どもたちへの参加募集案内配布の際には、意欲的に事業への参加を呼びかけてもらえるようになった。
- 事業実施後、学校から学校行事に協力してくれる地域の方を紹介してほしいなどの連絡があり、本事業が学校と地域との連携を発展させる契機となった。

課題

- 今後は、系統的な事業のプログラムを構築することにより、学校への出前事業としても支援できるような体制をつくりたい。
- 将来的には、事業の運営委員会をつくり、小学校のPTAなどとも協力し、地域の子どもたちにどんなことを身に付けさせ、どのように育てていったら良いかということと共に考える、地域と学校が連携した組織をつくる必要がある。

